

2013年12月6日

全国信用金庫協会
会長 大前 孝治 殿

全国金融労働組合連合会
中央執行委員長 松木 静雄

要 請 書

貴職のご活躍に敬意を表しますとともに、日頃のご協力に感謝申し上げます。

金融労連は、9月14日～15日の2日間、第8回定期全国大会を開催し、2014年度の運動方針等を決定しました。

私たちは、労働者の生活と権利を守り、地域金融機関が健全で民主的に発展することをのぞむ立場から、貴協会が次の事項の実現に向けて努力されるよう要請いたします。

記

1. 年末は過当競争が激化し、繁忙期を理由とした不払い残業が増え、休日出勤も懸念されます。賃金不払い残業などの法違反をなくすことはもとより、年末・年始の労働強化をなくすため、12月30日（月）は原則として定時退社とし、12月31日（火）～1月5日（日）は完全休業とするよう会員金融機関に注意喚起すること。また12月30日の休日化実現を関係当局に働きかけること。
2. 中小企業金融円滑化法終了後も「引き続き円滑な資金供給に努めるよう金融機関に促す」との政府方針を実効あるものにするため、厳しい状況に置かれている中小企業の経営支援に向けた金融円滑化を図ること。
3. 金融リスク商品については、無理な勧誘につながる従業員へのノルマ（目標）販売をやめ、金融商品取引法を遵守すること。
4. 急増する過労死やメンタル不全などを防ぐため、長時間過密労働やパワーハラスメント等の解消をすすめ、労働者の心身両面にわたる健康保持を具体的に図ること。
5. 今年4月からの無年金時代への対応について、選別基準の廃止はもとより、少なくとも年金支給時期までの定年延長と60歳時の賃金水準の保障を行なうよう会員金融機関を指導すること。
6. 時代の流れに逆行する就業時間の延長をやめるとともに、総労働時間の短縮に向けた具体的な施策を進めるよう指導すること。

以 上